

(様式第4号)

## 第12回 武石地域協議会 会議概要

1 審議会名	武石地域協議会
2 日時	令和5年3月22日 午後7時00分から午後8時00分まで
3 会場	武石地域自治センター3階 大会議室
4 出席者	雨宮委員、伊藤委員、金井委員、金子委員、小坂委員、児玉(淳)委員、 児玉(守)委員、小山委員、近藤委員、坂上委員、城下委員、比田井委員、 廣川委員、堀委員、松久委員 <b>【欠席委員5名】</b>
5 市側出席者	樋口地域振興課長、白鳥市民サービス課長、芳池産業建設課長、 杉浦丸子・武石上下水道課長、若林武石教育事務所長、若木地域政策担当係長、 生涯学習・文化財課古平文化財保護担当係長、文化財保護担当谷口主査、 鈴木地域担当、清水地域政策担当主査
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	1人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和5年3月29日

### 協 議 事 項 等

#### 1 開 会 (副会長)

#### 2 あいさつ (会長、センター長)

(センター長) 武石地域は過疎指定を受けたことで令和5年度からは過疎債を活用した事業が始まる。3月議会については12月議会で否決された雲溪荘の指定管理期間について2年に短縮させたうえで上程し、議会で認められた。令和5年度の予算についても様々な新規の事業を予算計上した。その中で広場整備、旧自治センター跡地の整備が今年メインとして事業が始まる。また、武石番所ヶ原スキー場のレストハウスについても改築し新たな施設を建設していく。その中でできるだけ武石地域の過疎指定をフルに活用し、予算計上し事業を実施していくということで5年度から新たに取り組んでいきたい。

#### 3 協議事項

##### (1) 第11回地域協議会協議内容の確認について【事前資料No.1】(事務局説明)

・委員からの意見、質問なし

○温泉施設在り方検討部会について報告

##### (2) 上田市文化財保存活用地域計画について【事前資料No.2】

(生涯学習・文化財課文化財保護担当係長説明)

##### 【質疑等】

(委員) 推進母体はどこになるのか。事務局のようなものはどこになるのか

(文化財保護担当係長) 計画全体を統括するのは教育委員会の生涯学習・文化財課になるが、そこが音頭を取って各地域の事業を推進してやっていくということではなく、計画の趣旨を広く知ってもらう中で地域でやっている自発的な取り組みがそれぞれで行われていけば良いというのが計画の目指すところ。行政とすると、例えば文化財を知ってもらうような取り組みをしたいといったような相談があれば他地域で行われている事例を紹介したり、地域内にある文化財を使って何かできないかを一緒に考えたりするといったイメージ。

(委員) この計画の市民、地域の住民への周知はどのような計画か。

(文化財保護担当係長) 明確な認定に取り付けたというのが今年度のところで、その流れで各地域協議会において説明しているところである。それ以降、例えば出前講座のような機会でも市民、地域の住民へ説明をしたり、公民館活動の中でこういった分野にふれてもらう取り組みを考えていくなど、生涯学習も同じ課なので連携して計画の趣旨を知ってもらう取り組みを広めていきたい。

(委員) 令和4~7年の計画期間の中で各地域で実践された結果、実践事例の発表は行われるのか。

(文化財保護担当係長) 現在は仕組み的に発表の場を設けるといった具体的な案はないが、先進的な取り組みや他地域でも取り組んでいけそうな事例は広く地域住民に知ってもらったほうが具体的な取り組みのイメージがわくなどもあるので何かしら取り組み事例の共有も考えていきたい。

(委員) 取り組みに対する予算はあるのか。

(文化財保護担当係長) 予算的な措置はこの計画に紐づくものはない。文化財で執行している予算の中で難しい場合は庁内横断的に検討したり、何かしらお手伝いはしたい。直接的には予算はない。

(会長) 武石地域にも形に残らない無形文化財のような形でいろいろなお祭りや伝統的な集まりや過去からの歴史を踏まえた活動等があるがこの計画の概要版には載っていない。非常にさみしい。6つの関連文化財群として載っているがこれだけなのかと思う。重点地域にも武石地域という言葉が入っていない。これで市あげての全体の考え方、姿勢なのかと思う。

(文化財保護担当係長) この6つの関連文化財群はモデル的な例として掲載しているが、武石地域について概要版には掲載されていない形に見えてしまうところは申し訳ないところもある。武石・丸子・真田・上田という大きなくくりだけではなく、もっと小さい地域ごとにもストーリーとしてPRできる文化、歴史が多々あると思う。そういったものを今後いろいろな場で地域住民組織や地域住民の集まる場で具体化して武石地域だけでなく他の地域でもそれぞれの場で文化財に関心をもってもらえるような思いが共有できれば良いと思う。

なお、概要版に掲載されている地図については本編では上田市全体が掲載されているが、スペースの関係もあり重点地域の範囲を示し、北南が切れてしまっていて申し訳ないが、他地域でも意見をもらっているので次回の計画更新の際は意見を踏まえ検討する。

### (3) 住民自治組織交付要綱及び活力あるまちづくり支援金の一部改定について【事前資料No.3】

(事務局説明)

#### 【質疑等】

(委員) 住民自治組織とは武石地域では何を指すのか。

(事務局) 住みよい武石をつくる会になる。

(委員) 設置単位とは。旧武石村ということか。

(地域振興課長) その通り。

(委員) 地域枠とは何のことか。

(事務局) 上田市全体で住民自治組織が9地域ある。今までは市全域を対象とした事業でないといけなかったが、全域だと事業が進まないなどの部分もあり地域枠という形で細かく対象とした事業でも可能となった。

(委員) 住みよい武石をつくる会で行っている事業はすべて対象となるのか。

(事務局) 今まで「わがまち魅力アップ応援事業」という事業があったが、一通り徹底したということで、令和5年度持って終了し、今度「上田市活力あるまちづくり支援金」といった上田市全体を対象としていたが、旧上田地域では住民自治組織に参画する団体が少ないため、今回地域枠を設けて住民自治組織の単位を上田市全体ではなくその地域だけを対象としたものでも良いという補助事業を設け、なるべく住民自治組織に参画してもらいたいというのが目的。武石地域においては住みよい武石をつくる会の参画、構成団体・組織はほぼ網羅しているのでそういった目的で申請することはないと思われるが、住民自治組織に参画していない団体が住民自治組織に参画してもらいたいというのが目的。住みよい武

石をつくる会の活動と同じではないかと独自の各種団体、参画団体で何かやりたいというときにもこの補助事業に申請しても地域枠の中でいつまで採択採るといった流れ。

(委員) それぞれの地区での取組み、活動も該当するのか。

(事務局) 該当する。ただし、以前に「わがまち魅力アップ応援事業」で採択されたもの以外のものでも全く新たな活動であれば応募ができる。

#### 4 その他

##### ○3月退任委員の紹介

武石地区自治会連合会 雨宮 委員

松久 委員

武石小学校PTA 比田井 委員

##### ○異動職員の報告

下村センター長

芳池産業建設課長

若木地域政策担当係長

##### ○第1回 地域協議会の日程について

日時：令和5年4月19日(水)午後7時30分～

場所：武石地域総合センター3階大会議室

#### 5 閉会(副会長)